

あぶしん景況レポート

2024年4～6月期



総合企画部

Vol.16 2024.7発行

当地区の概況

【業種別天気図】

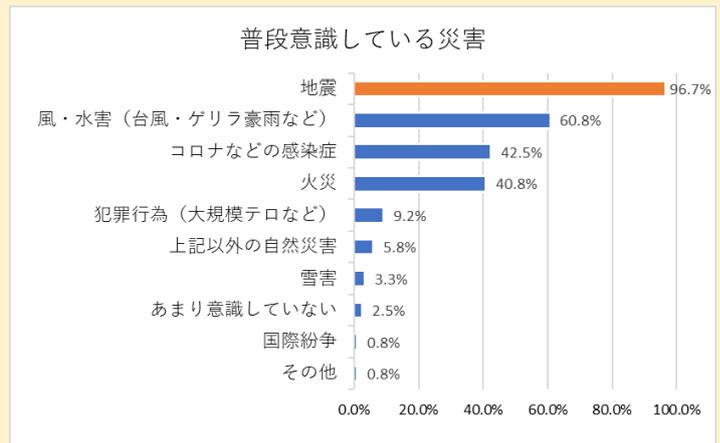
調査対象:120社

業種別	総合	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総合 D.I.
2024年 1～3月								▲ 10.8
2024年 4～6月								▲ 11.7
2024年 7～9月 (見通し)								▲ 13.3

- 2024年4～6月期（今期）の業況判断 D. I. は ▲11.7 と、前期比 0.9 ポイントの悪化となった。
業種別に見るとサービス業は 15.0 ポイント改善の▲15.0 となった。
- 2024年7～9月期（来期）の予想業況判断 D. I. は▲13.3 と、今期実績比 1.6 ポイントの悪化を見込んでいる。

特別調査 - 中小企業における災害等への対応について -

- 普段意識している災害については 96.7%が「地震」、60.8%が「風・水害(台風・ゲリラ豪雨など)」と回答した。
- 自社の現在の災害への備えについては「できている」「どちらかというのできている」が合わせて 64.2%となった。一方で、実際に災害にあった際に自社の備えをどう感じたかでは「できていた」「どちらかというのできていた」が合わせて 48.4%と減少した。



【業況判断天気図】



業況判断 D. I 指数は「良い・やや良い」と回答した割合から「悪い・やや悪い」と回答した割合を差し引いて算出した数値です。

詳しくは<あぶしん>
各支店へ！



あぶくま信用金庫
☎0244-23-5132

携帯・スマートフォンの方はQRコードを！
情報満載、ホームページをご覧ください。

あぶしん
<http://www.abukuma.co.jp/>



製造業

業況判断D.I.

調査対象：20社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D.I.
今期 (4-6月)	予想	0.0	15.0	50.0	30.0	5.0	▲ 20.0
	実績	5.0	20.0	25.0	30.0	20.0	▲ 25.0
来期 (7-9月)	予想	5.0	20.0	40.0	20.0	15.0	▲ 10.0

業況判断D.Iは、前期（実績）より5.0ポイント悪化し、▲25.0となった。継続して「原材料高」が課題となっている一方で、受注面は好調という声も挙げられている。来期（予想）D.Iは改善し、▲10.0となる見込み。

○経営課題

（複数回答）

	項目	今期	前期
1	原材料高	55.0%	50.0%
2	人手不足	40.0%	35.0%
3	売上の停滞・減少	35.0%	30.0%

○重点経営施策

（複数回答）

	項目	今期	前期
1	販路を広げる	55.0%	55.0%
2	人材を確保する	50.0%	45.0%
3	経費を節減する	40.0%	50.0%

卸売業

業況判断D.I.

調査対象：18社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D.I.
今期 (4-6月)	予想	0.0	16.7	55.6	11.1	16.7	▲ 11.1
	実績	0.0	22.2	55.6	11.1	11.1	0.0
来期 (7-9月)	予想	0.0	16.7	50.0	27.8	5.6	▲ 16.7

業況判断D.Iは、前期（実績）より5.6ポイント改善し0.0となった。来期（予想）D.Iは大幅に下げ、▲16.7を見込んでいる。重点経営施策では「経費を節減する」と回答した企業の割合が大幅に増えた。

○経営課題

（複数回答）

	項目	今期	前期
1	売上の停滞・減少	61.1%	55.6%
2	利幅の縮小	44.4%	44.4%
3	同業者間の競争の激化	27.8%	27.8%
3	販売商品の不足	27.8%	22.2%

○重点経営施策

（複数回答）

	項目	今期	前期
1	経費を節減する	72.2%	33.3%
2	販路を広げる	50.0%	83.3%
3	品揃えを充実する	38.9%	11.1%

小売業

業況判断D.I.

調査対象：21社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D.I.
今期 (4-6月)	予想	0.0	42.9	38.1	19.0	0.0	23.8
	実績	4.8	19.0	61.9	14.3	0.0	9.5
来期 (7-9月)	予想	0.0	19.0	61.9	19.0	0.0	0.0

業況判断D.Iは前期（実績）より9.5ポイント悪化し、9.5となった。今期（予想）ではD.Iは改善すると見込んでいたが、「やや良い」と回答した先が減少し、悪化する結果となった。

○経営課題

（複数回答）

	項目	今期	前期
1	人手不足	42.9%	47.6%
1	利幅の縮小	42.9%	28.6%
3	売上の停滞・減少	28.6%	33.3%
3	仕入先からの値上げ要請	28.6%	33.3%

○重点経営施策

（複数回答）

	項目	今期	前期
1	経費を節減する	57.1%	42.9%
2	人材を確保する	28.6%	28.6%
2	売れ筋商品を取り扱う	28.6%	14.3%

サービス業

業況判断D.I.

調査対象：20社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D.I.
今期 (4-6月)	予想	0.0	15.0	45.0	35.0	5.0	▲ 25.0
	実績	0.0	20.0	45.0	35.0	0.0	▲ 15.0
来期 (7-9月)	予想	0.0	15.0	50.0	35.0	0.0	▲ 20.0

業況判断D.I.は、前期（実績）から15.0ポイント改善し▲15.0となった。経営課題においては「材料価格の高騰」と「人手不足」の問題が引き続き指摘されている。来期（予想）D.Iは5.0ポイント悪化し▲20.0となった。

○経営課題

（複数回答）

	項目	今期	前期
1	売上の停滞・減少	55.0%	50.0%
2	材料価格の上昇	45.0%	50.0%
3	人手不足	40.0%	45.0%

○重点経営施策

（複数回答）

	項目	今期	前期
1	人材を確保する	45.0%	55.0%
2	経費を節減する	40.0%	35.0%
2	販路を広げる	40.0%	25.0%

建設業

業況判断D.I.

調査対象：21社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D.I.
今期 (4-6月)	予想	0.0	14.3	38.1	38.1	9.5	▲ 33.3
	実績	0.0	14.3	47.6	28.6	9.5	▲ 23.8
来期 (7-9月)	予想	0.0	14.3	52.4	28.6	4.8	▲ 19.0

業況判断D.I.は前期（実績）から4.8ポイント改善し、▲23.8となった。残業時間の上限規制の導入により、約半数の企業は前期と比較して残業時間が減少しているが、人手不足は依然として課題となっている。

○経営課題

（複数回答）

	項目	今期	前期
1	人手不足	57.1%	52.4%
2	売上の停滞・減少	47.6%	66.7%
3	材料価格の上昇	38.1%	38.1%

○重点経営施策

（複数回答）

	項目	今期	前期
1	人材を確保する	71.4%	71.4%
2	経費を節減する	52.4%	66.7%
3	販路を広げる	42.9%	42.9%

不動産業

業況判断D.I.

調査対象：20社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D.I.
今期 (4-6月)	予想	5.0	5.0	75.0	15.0	0.0	▲ 5.0
	実績	0.0	0.0	85.0	15.0	0.0	▲ 15.0
来期 (7-9月)	予想	0.0	5.0	75.0	20.0	0.0	▲ 15.0

業況判断D.I.は前期（実績）より15.0ポイント悪化し、▲15.0だった。来期（予想）D.Iは変わらず▲15.0となった。「売上の停滞・減少」を経営課題にあげた企業の割合が増えた。

○経営課題

（複数回答）

	項目	今期	前期
1	売上の停滞・減少	35.0%	15.0%
2	同業者間の競争の激化	30.0%	40.0%
2	利幅の縮小	30.0%	40.0%

○重点経営施策

（複数回答）

	項目	今期	前期
1	販路を広げる	40.0%	25.0%
2	経費を節減する	35.0%	25.0%
2	情報力を強化する	35.0%	40.0%

全国の概況

【全国業種別天気図】

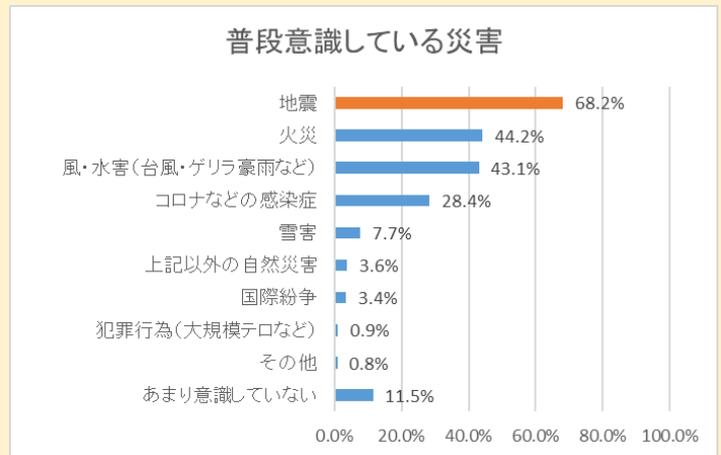
回答社数: 13,220社

		総合	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総合 D.I.
全国	2024年 1~3月								▲ 9.3
	2024年 4~6月								▲ 7.8
	2024年 7~9月 (見通し)								▲ 6.5
東北	2024年 4~6月								▲ 27.2

- 全国の2024年4~6月期（今期）の業況判断 D. I. は ▲7.8、前期比 1.5 ポイント改善と、2 四半期ぶりの小幅改善となった。2024 年 7~9 月期（来期）の予想業況判断 D. I. は▲6.5、今期実績比 1.3 ポイントの改善を見込んでいる。
- 東北地区の2024年4~6月期（今期）の業況判断 D. I. は▲27.2 と、前期比 0.7 ポイント小幅改善した。2024 年 7~9 月期（来期）の予想業況判断 D. I. は▲21.9 と 5.3 ポイントの改善を見込んでいる。

特別調査 - 中小企業における災害等への対応について -

- 普段意識している災害については、「地震」が 68.2%と最も高くなり、以下「火災」44.2%、「風・水害（台風・ゲリラ豪雨など）」43.1%と続いた。地域別・従業員規模別、業種別にみると全ての階層で「地震」との回答が最も多かった。
- 自社の現在の災害への備えについては「できている」10.5%と「どちらかというのできている」41.0%に対し、「できていない」10.9%と「どちらかというのできていない」37.6%がそれぞれ拮抗した。



全国の調査員からのコメント

- 円安の影響を受けているが、仕入れ方法を工夫し、費用を削減して利益を確保している。（婦人服卸 静岡県）
- 大手メーカーの品質問題によって、売上は想定分から 10%減少となった。（自動車部品製造 愛知県）

【調査要領】

1. 調査時期 2024 年 6 月
2. 調査方法 原則として、全国の信用金庫営業店の調査員による面接聴取りによる感触調査
3. 分析方法 業況判断 D. I. は、「良い・やや良い」とした企業が全体に占める割合と、「悪い・やや悪い」とした企業の割合との差(判断 D. I.) を中心にして分析を行った。
4. 対象企業 回答企業のうち従業員 20 人未満の企業が約 7 割を占めるなど、比較的小規模な企業が主体となっている。

本レポートは、標記時点における情報提供を目的としています。したがって、投資等についてはご自身の判断によってください。また、本レポート掲載資料は、信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、正確性および完全性を保証するものではありません。